

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	びわこ成蹊スポーツ大学
設置者名	学校法人 大阪成蹊学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				合計	省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通科目 (教養科目)	学部等 共通科目 (専門科目)	専門 科目 (コース 専門科目)	キャリア 関連科目 (卒業要件に 含まれない)			
スポーツ学部	スポーツ学科 学校スポーツコース	夜・通信	8	40	26	39	113	13	
	スポーツ学科 コーチングコース	夜・通信			32		119		
	スポーツ学科 トレーニング・健康コース	夜・通信			31		118		
	スポーツ学科 スポーツ情報戦略コース	夜・通信			10		97		
	スポーツ学科 野外スポーツコース	夜・通信			4		91		
	スポーツ学科 地域スポーツコース	夜・通信			2		89		
	スポーツ学科 スポーツビジネスコース	夜・通信			18		105		
(備考)									

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

公表方法：大学ホームページのシラバスで公表している。

<https://biwako-seikei.jp/department/curriculum/>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	びわこ成蹊スポーツ大学
設置者名	学校法人 大阪成蹊学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

大阪成蹊学園ホームページ「情報公開」「財務情報について『大阪成蹊学園財務情報』」 「事業報告書」内のP4「3.役員・評議員」内で公表。 https://osaka-seikei.jp/disclosure/h30.php

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	信用保証機関 代表取締役社長	H30. 11. 1～ R4. 10. 31	人事・広報 募集・就職
常勤	銀行 常務監査役	H28. 6. 30～ R2. 6. 29	組織運営
常勤	銀行 常務執行役員	H29. 4. 24～ R3. 4. 23	経営計画・IR
非常勤	弁護士	H30. 4. 1～ R4. 3. 31	法務
非常勤	税理士	H30. 4. 1～ R4. 3. 31	財務
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	びわこ成蹊スポーツ大学
設置者名	学校法人 大阪成蹊学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 全科目について、①授業方法、②授業概要、③養うべき力と到達目標、④成績評価の方法・割合・基準、⑤授業計画、⑥実務教員による授業か否か、等を記載したシラバスを作成し、大学HP等を用いて公表している。 シラバスの作成にあたっては、授業担当教員が決まり次第作成を開始し、学内のFD委員会にてシラバス作成の基準に基づく内容か等のチェックを行い、3月末の新年度履修指導までに前述のように公表している。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>大学ホームページにて情報を公表している。 https://biwako-seikei.jp/target/students/pdf/syllabus_1.pdf</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 全授業科目において、ディプロマポリシーと到達目標との関連をシラバスに明記し、その達成度合いを測るための評価基準を定めている。達成度合いの測定にあたっては、授業特性に応じ、試験やレポート、プレゼンテーション、フィールドワーク等の方法から複数を用い、授業の理解度や習熟度、技術、能力を多角的かつ客観的に計測し、評価を行っている。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

本学ではGPA制度を用いて学生の学業成績状況の把握に努めている。
GPAの算出方法は以下のとおりとし、同内容を下記大学HPで公表している。
以下の方法で算出したGPAをもとに、成績不振者への学修指導等を実施している。

【GPAの算出方法】※GPAの少数点第3位以下は切り捨てる。

$$\text{GPA} = \frac{\text{科目の単位数} \times \text{その科目の評価点 (Grade Point) の総和}}{\text{履修科目の単位数の総和}}$$

<成績評価及びGrade Point換算表>

区分	評価	評点	評価点 (Grade Point)
合格	S	100～90点	4.0
	A	89～80点	3.0
	B	79～70点	2.0
	C	69～60点	1.0
不合格	F	59点以下	0.0

客観的な指標の算出方法の公表方法	大学ホームページにて情報を公表している。 https://biwako-seikei.jp/department/curriculum/pdf/terms.pdf
------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)
本学ではディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）を定め、大学HPへ記載するとともに、学生へ配付するハンドブックにも掲載し、学生への周知を図っている。
ディプロマ・ポリシーは項目ごとに細分化され、シラバス内で各科目の到達目標と関連付けられている。学生は各科目（単位）の修得によりディプロマ・ポリシーを段階的に達成し、その積み重ねにより卒業を認定している。

卒業のための条件は、以下の3つである。
①修業年限：修業年限は4年とする。在学することのできる年限は、休学等の特別な事由を除き、8年間である。
②卒業に必要な単位数：カリキュラム表に基づき必要な単位（合計124単位以上）を修得しなければならない。
③卒業研究：学修の集大成として、卒業年次に卒業研究を行い、卒業論文を提出しなければならない。

上記卒業のための条件を満たした者について、教授会の審議を経て、学長が卒業を認定している。

卒業の認定に関する方針の公表方法	大学ホームページにて情報を公表している。 https://biwako-seikei.jp/department/policy/
------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	びわこ成蹊スポーツ大学
設置者名	学校法人 大阪成蹊学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学園ホームページ上の「情報公開」内で公表している。 https://osaka-seikei.jp/disclosure/h30.php
収支計算書又は損益計算書	学園ホームページ上の「情報公開」内で公表している。 https://osaka-seikei.jp/disclosure/h30.php
財産目録	学園ホームページ上の「情報公開」内で公表している。 https://osaka-seikei.jp/disclosure/h30.php
事業報告書	学園ホームページ上の「情報公開」内で公表している。 https://osaka-seikei.jp/disclosure/h30.php
監事による監査報告(書)	学園ホームページ上の「情報公開」内で公表している。 https://osaka-seikei.jp/disclosure/h30.php

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: 令和元年度事業計画 対象年度: 令和元年度)
公表方法: 学園ホームページ上の「情報公開」内で公表。 https://osaka-seikei.jp/disclosure/
中長期計画(名称: 対象年度:)
公表方法:

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 大学ホームページにて情報を公表している。 https://biwako-seikei.jp/disclosure/

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: 大学ホームページにて情報を公表している。 https://biwako-seikei.jp/jihee/

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 びわこ成蹊スポーツ大学 スポーツ学部
教育研究上の目的（公表方法：大学ホームページにて情報を公表している。 https://biwako-seikei.jp/department/policy/ ）
（概要） 建学の精神である「桃李不言下自成蹊」の理念に基づき、新しいスポーツ文化の創造のための教育研究に努め、日々のスポーツや健康に関するニーズに応えられるよう、スポーツを開発し、支援することのできる豊かな教養と高度な専門性を有する人材を育成する。そして、このような育成された資質や能力を広く社会に役立てることを目指す。
卒業の認定に関する方針（公表方法：大学ホームページにて情報を公表している。 https://biwako-seikei.jp/department/policy/ ）
（概要） 卒業要件の単位修得を通して、「スポーツに関する学術的理解、環境的理解、高度な技能」「スポーツ界でリーダーシップを発揮する力」「スポーツ学における専門的な知識、技能、実践力」「忠恕の心」を身につけた学生に対し、社会で活躍できる「人間力」を備えたものと認め、学士（スポーツ学）を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学ホームページにて情報を公表している。 https://biwako-seikei.jp/department/policy/ ）
（概要） 「人間力」を備えた人材を育成するために、ディプロマ・ポリシーに定めた「スポーツに関する学術的理解、環境的理解、高度な技能」「スポーツ界でリーダーシップを発揮する力」「スポーツ学における専門的な知識、技能、実践力」「忠恕の心」を身につけられるよう、系統的な教育課程を編成している。また、学修成果と評価については授業科目ごとにシラバスにおいて到達目標や成績評価方法を明記し、客観的に学修成果を測り、評価できるようにしている。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学ホームページにて情報を公表している。 https://biwako-seikei.jp/department/policy/ ）
（概要） アドミッション・ポリシーとして「スポーツに興味・関心があり、基礎的な学力、運動能力、そして豊かな人間性を備え、自己の将来に向かって成長し、スポーツを通じて社会に貢献する意志を持つ人の入学を希望する。」と明記して、入試を実施している。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：大学 HP の以下のページにて情報を公表している。 https://biwako-seikei.jp/introduction/organaization/

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					3人
スポーツ学部	—	18人	12人	12人	0人	7人	49人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
人		36人					36人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：大学ホームページにて情報を公表している。 https://biwako-seikei.jp/department/teacher/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
<p>学園全体のFSD研修の他、大学全教職員を対象としたFD研修を実施し、教員の資質の維持向上に努めている。また、本学では全学的な教学改革を推進することを目的とする「教学改革推進会議」を開催しているが（2018年度実績：全11回開催、構成員：学長、副学長、学部長、学科長及び全教員と幹部職員等）、アドミッション・ポリシーと入試方法の整合、シラバスの一層の充実、アクティブラーニングの推進、適切な成績評価実施など19のプロジェクトを立ち上げ、教学改革を推進する中で、各プロジェクトが中心となって教員の資質の向上を目的とした研修を開催している。</p> <p>また、新任教員や非常勤教員を対象とした研修会も実施している。</p> <p>1. 学園全体FSD研修</p> <p>①大学・短期大学を取り巻く募集環境と学校法人の経営について</p> <p>②これからの高等教育に求められる質保証について</p> <p>③2040年度に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）について</p> <p>④重要リスク項目に関する自己評価結果</p> <p>2. 大学全体FD研修</p> <p>①新年度開始に際する教務事項に関して</p> <p>②カリキュラム編成に向けて</p> <p>③授業評価アンケートの活用～学生代表参加型FD～</p> <p>④「発達障害」に関する学生へのガイダンス内容と大学における支援体制や進め方について</p> <p>⑤教職センターの果たす役割と教職課程の編成</p> <p>⑥アドミッション・ポリシーと入試方法の整合性～2019入試に向けて～</p> <p>⑦研究倫理・コンプライアンス</p> <p>⑧教員相互によるシラバスチェック研修</p> <p>⑨PROGテストの結果と分析と各項目へのアプローチ</p> <p>研修は全教員出席としており、出席がかなわなかった教員については、後日資料及び映像(DVD)を用いて研修を行っている。</p>							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
スポーツ学部	360人	401人	111.4%	1,440人	1,521人	105.6%	0人	2人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	360人	401人	111.4%	1,440人	1,521人	105.6%	0人	2人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
スポーツ学部	308人 (100%)	8人 (2.6%)	282人 (91.6%)	18人 (5.8%)
合計	308人 (100%)	8人 (2.6%)	282人 (91.6%)	18人 (5.8%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 関西みらい銀行、徳島銀行、京都信用金庫、イオンプロダクトファイナンス、大和ハウス工業、日亜化学工業、西日本旅客鉄道、モルテン、ドームユニテッド、ティップネス、幼児活動研究会、リゾートトラスト、スターバックスコーヒージャパン、日本赤十字社、近畿健康管理センター、滋賀県警察本部、大津市消防局、滋賀県教育委員会、京都市教育委員会				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)

全科目について、①授業方法、②授業概要、③養うべき力と到達目標、④成績評価の方法・割合・基準、⑤授業計画、⑥実務教員による授業か否か、等を記載したシラバスを作成し、大学HP等を用いて公表している。

シラバスの作成にあたっては、前年度に授業担当教員が決まり次第作成を開始し、学内のFD委員会にてシラバス作成基準に基づく内容か等のチェックを行い、3月末の新年度履修指導までに前述のように公表している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>全授業科目において、ディプロマ・ポリシーと到達目標との関連をシラバスに明記し、その達成度合いを計るための評価基準を定めている。達成度合いの測定にあたっては、授業特性に応じ、試験やレポート、プレゼンテーション、フィールドワーク等の方法から複数を用い、授業の理解度や習熟度、技術、能力を多角的かつ客観的に計測し、評価を行っている。</p> <p>本学ではディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）を定め、大学 HP へ記載するとともに、学生へ配付するハンドブックにも掲載し、学生への周知を図っている。</p> <p>ディプロマ・ポリシーは項目ごとに細分化され、シラバス内で各科目の到達目標と関連付けられている。学生は各科目（単位）の修得によりディプロマ・ポリシーを達成し、最終的に卒業を認定している。</p>				
学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
スポーツ学部	スポーツ学科	124 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	1～3 年次生：45 単位 4 年次生：49 単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：大学ホームページ「情報公開」内にて「2018（平成30）年度・前期期末「教学改善のための授業評価アンケート」」「2018（平成30）年度・後期期末「教学改善のための授業評価アンケート」」を公表。 https://biwako-seikei.jp/disclosure/		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

<p>公表方法：大学ホームページにて情報を公表している。 https://biwako-seikei.jp/introduction/campus/</p>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
スポーツ学部	スポーツ学科 (令和元年度入学生)	950,000 円	250,000 円	270,000 円	教育充実費
	スポーツ学科 (平成30年度以前入学生)	950,000 円	250,000 円	250,000 円	教育充実費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>学生の修学に係る支援として、オフィスアワー制度及び学習支援室を設けている。オフィスアワーは、教員が研究室において学生からの授業に係わる質問・相談に応じる時間として、全教員が毎週1限設けて、学生に周知し、希望者に対応をしている。学習支援室は、リメディアル教育及び基礎学力向上のプログラムを推進しており、授業日の2～4限を中心に学習支援担当教員を配置している。</p>
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>本学学生が就職に必要な基礎能力を育み、社会人として自立できる能力を身につけられるよう、以下の取り組みを実施している。</p> <p>1年次生では、年度始めに本学就職支援体制のしくみを理解させた上で、卒業までの自分自身の就職活動をスケジューリングさせている。また3年次に全員必修で参加する「インターシップ実習」に向け、2年次から系統的に自立的な進路選択や将来設計ができるようインターシップ事前研修・事前指導の授業を行っている。</p> <p>加えて、国際的なコミュニケーション能力の向上を目的としたTOEIC試験や、キャリア形成支援を目的としたアクティブラーニング（キャリアメイトプロジェクト）を導入している。</p> <p>民間企業志望者に対しては、3年次より自己分析、マナー講座、履歴書作成などの対策講座や、民間企業より採用担当者を招聘し学内外で企業説明会を実施している。また本学学生の採用実績のある企業との就職懇談会を開催し、就職担当教職員との情報交換を通じて企業との結びつきを強固にし、同時に企業ニーズを探るよう努めている。さらに地域創生を鑑み、滋賀県下の企業への就職を充実させるよう、行政・関連団体と情報交換を密に実施している。</p> <p>公務員志望者に対しては、試験対策講座（年間30コマ以上）や学内での各種試験の受験説明会を全学年対象で行っている。教職希望者に対しては、1・2年次で「キャリアデザイン論」の講座を行い、教職の仕事の理解および教職に就く自覚と努力の必要性と、その志を高める工夫をしている。さらに3年次では教職コアチームを編成し、採用試験合格に求められる知識中心の対策講座、面接や論文を中心とした対策講座を実施している。また、卒業後も職場のミスマッチングなどによる離職既卒生への対応ならびに支援を、継続的に実施している。</p>
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>学生に対する健康相談と心的支援は、保健センターが中心となって行っている。保健センターは、医療法上の診察施設として認可されており、医師資格を持つ教員及び看護師が急性疾患への初期対応を行っている。毎年4月に定期健康診断を実施し、全ての学生が受診することとしている。健康診断結果は、学生に通知すると共に、健康診断結果の異常に対し二次検診を行っている。また、スポーツ傷害健康相談と内科健康相談を予約制で実施している。</p> <p>心理的ケアを必要とする学生に対して、学生相談室を設け、学生相談員（臨床心理士）を配置し、定期的に相談に応じている。また、2018年には障がい学生支援室を設置し、障がいがある学生が、適切な支援を受け円滑な学生生活をおくることのできる体制を作って対応している。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：大学ホームページ上の下記 URL で公表。

1. 大学の教育研究上の目的及び第百六十五条の二第一項の規定により定める方針（卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針）に関すること

<https://biwako-seikei.jp/department/policy/>

2. 教育研究上の基本組織に関すること

<https://biwako-seikei.jp/introduction/organaization/>

3. 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

<https://biwako-seikei.jp/department/teacher/>

4. 入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

<https://biwako-seikei.jp/disclosure/>

5. 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<https://biwako-seikei.jp/department/curriculum/>

6. 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<https://biwako-seikei.jp/department/policy/>

7. 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

<https://biwako-seikei.jp/introduction/campus/>

8. 授業料、入学料その他の大学が徴収する費用に関すること

<https://biwako-seikei.jp/disclosure/>

※情報公開ページの「学則」にて公表

9. 大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

https://biwako-seikei.jp/career/career_support/

<https://biwako-seikei.jp/life/consultation/>

また、大学案内、冊子「びわこ成蹊スポーツ大学キャリアサポート」の配付等にて公表